

フレッシュマン・オカザキのインド通信

インド生産 超最新情報！！

お世話になっております！

最近インドに出向いていなかったオカザキですが、今回久しぶりに訪印することができました。そしてこれを書いている現在も滞在中です！今回はとれたてホヤホヤの超最新情報を現地よりお届け致します！

まずはインド工場の超最新情報から！

横浜港向け、大阪港向け両コンテナがまとまり、検品に行って参りました！新しい工場に生産を移してから、大阪港向けは既に何度か出荷していますが、横浜港向けは初めての出荷となります。何度も試行錯誤を重ね、試験生産を乗り越え、ようやく第一便出荷までこぎつけることができました！

そして重要なその出来はというと…

100点満点！…とはさすがに言えませんが、十分に合格点はあげられると思います。

二番の面を正面にしている等、若干のミスはありましたが、説明さえすれば納得してもらうことができ、再生産にも応じてもらえました。インドの職人は中国の職人と比べ真面目とよく言われますが、こちらの工場の職人は特に真面目で、磨き残しの問題が起こりやすい黒系石種でも、全体的によく磨けています。



↑仙台営業所の発注分。難しい箇所もよくできていました！

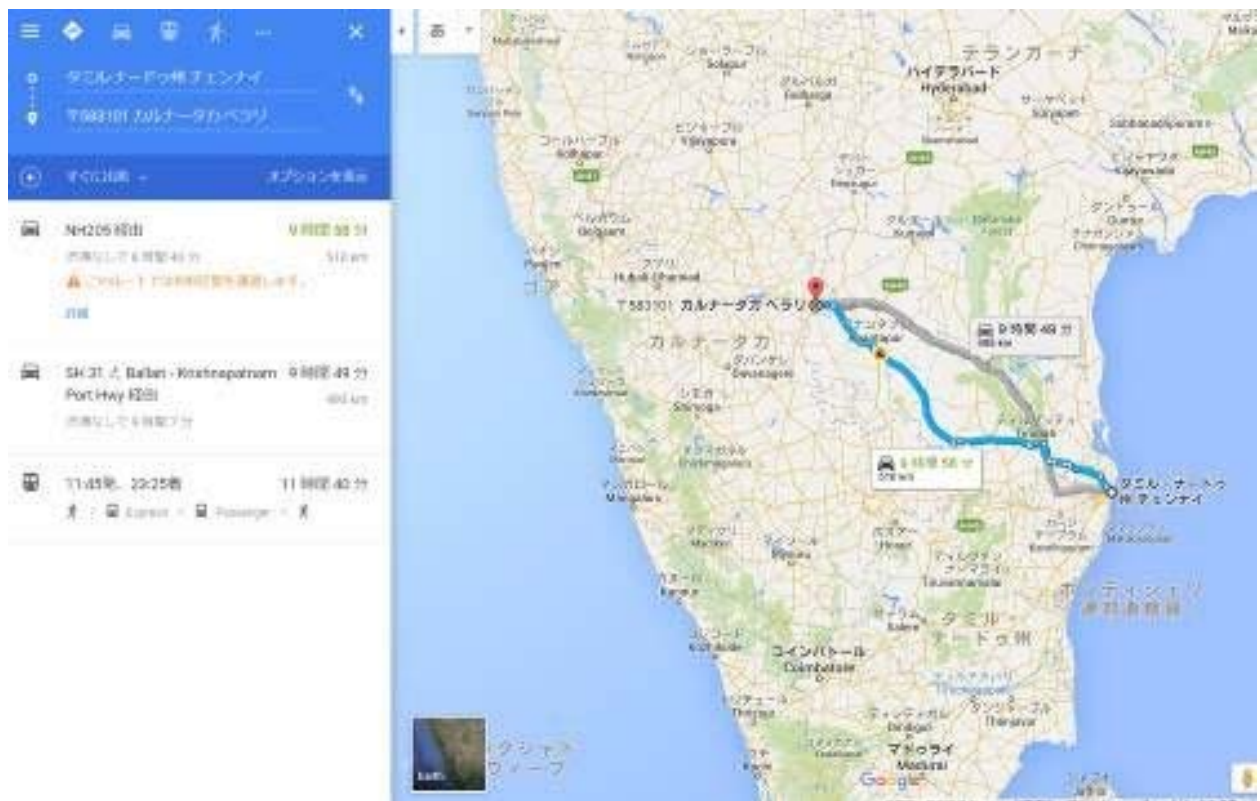
現在(10月末)検品、出荷手配中ですので、注文いただいている方はもう少々お待ちください！また、次回便の発注も受け付けております。
詳細は弊社担当営業員まで！

ー インドバス紀行 ー

おもしろインドネタの方も最新でお届けします！

今回、前メルマガ担当 サトー氏のいたずらご厚意により、インドの深夜バスを体験させて頂きました！

インド南東部のチェンナイから州を越え、内陸部のベラリーまでその距離なんと約 500 km！東京-大阪間と同じぐらいなので、5-6 時間我慢すれば着くだろうとタカをくくっていた私でしたが… 甘かったです…。インドはまだインフラ整備が整っていないので道が悪く、下の地図上では 9 時間 58 分と出ていますが、実際にかかった時間はなんと 13 時間…!! その体験記を書かせていただきます！



PM5:30

バス出発は PM6:30 でしたが一応一時間前に到着しました。

左がチェンナイ・バスターミナルの入り口ですが、これはほんの一部で、敷地面積は

かなり大きいです。右が乗り場の様子です。国内各地へ向かう人で溢れています。
千ケットは既に購入してもらっており、お値段なんと約 700 ルピー！ (約 1400 円)



↑お菓子や飲み物が売られている出店が
乗り場の横に並んでいます。



バスのカウンターデスク。当日券の販売もあります。乗り場は千ケットには ↑
書いていないのでこちらかその辺をうろついている職員に聞きます。

PM6:15

飲み物と食料を買い、いよいよバスに乗り込みます！このバスは寝台・空調無しバスです。窓は開くので夜行ですし熱くはありません。と、この時点では思っていました…



←↑車内の様子。二段ベッドが左右に並んでおり通路は非常に狭く、すれ違うのに一苦勞です。右側は一人用のベッドで、左側は2-3人の家族用で広めです。シーツが置かれており、自分で敷きます。

PM6:45

15分遅れで出発。元々この時間に出発だったのではないかと思うくらい普通に出発しました。これもインティアタイムということでしょうか…。

PM7:00

出発して少しすると、隣の若者が話しかけてきました。やはり夜行バスに外国人が乗っているのが珍しかったようです。



↑左がバブルー君(18)学生でプログラミングの勉強中。右がカジャ君(28)建築関係の仕事をしているそうです。チェンナイに遊びに来ていたようで、地元のベラリーの近くのアナンダプールというところに帰る道中とのこと。色々話をしてすっかり仲良くなり、SNSまで交換しました。また、持っていた日本のお菓子をあげると、とても美味しい!と言って喜んでもらえました。

彼らはイスラム教徒と言っていましたがお酒もタバコもやるようで、本来バス内はもちろん禁煙なのですが、ばれなければ大丈夫と言って吸っていました。私も隠れて吸っていたのですが、後日知り合いの方に聞いてみると見つかった場合、**罰金と3ヵ月以内の禁固刑になるそうです。。**爆弾テロなども頻繁に起こるので公共施設内の火の取り扱いについては厳しいのですが、危うく私も捕まってしまうところでした。。

PM9:00

そんなこんなで話をしていたら消灯の時間になってしまいました。まだ眠くはなかったの
でベッド付近のライトをつけて本を読んだりして過ごしました。

PM11:00

周りも寝静まったので、私も寝ようと横になりましたが、なんとも揺れがひどくてどうも寝付けません。まあ慣れるだろうとそのまま横になっていました。

AM1:00

一向に寝付けません。。揺れもありましたが、夜中は風が意外と冷たかったので、開いていた窓を閉めようとしたのですがうまく閉まらず、隙間風がビュンビュン入ってきて非常に寒かったです。。寒いなんて全く予想していなかったの
で上着ももっておらず、ポロシャツ一枚だったので寒くて寝付けませんでした。。

AM2:00

たまにバスが運転手の気分で道端に停まり、休憩になります。もちろんトイレは設置されていないので…後はご想像にお任せ致します…(笑)



↑高速の道端で停まるバス。周りは明かりもないので真っ暗です。

AM3:00

浅い眠りを繰り返しますが、30分毎に起きてしまいます。。

AM5:00

同上。朝日が眩しいのでより一層…(略)

AM7:30

結局ほとんど眠ることができず、バスはベラリーに到着。やっと解放された…といった気持ちでした。

値段が安いとはいえ、肉体的にも精神的にもきつい13時間でした。。良い出会いはありましたが、正直言うと、もう二度と乗りたくありません…(笑)

以上、インド夜行バスレポートでした。

もし…もし体験してみたいという勇気のある方がいらっしゃれば…いや、さすがに危険すぎるのでお客様はお乗りいただけませんのでご了承下さい。(笑)

では、また来月まで…

2015/11/01 オカザキ